

第54期

株主の皆様へ

株主通信

平成29年1月1日 → 平成29年12月31日



タチカワフラインドグループ

富士変速機株式会社

証券コード：6295

環境調和型企業をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、
暮らしのどこかでつながっています。



株主の皆様へ



代表取締役社長

河嶋 謙一

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで平成29年4月に当社は創業70周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、当社は平成29年12月31日をもって第54期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

目次	株主の皆様へ……………	1	製品紹介……………	11
	事業の概況……………	2	トピックス……………	12
	財務ハイライト……………	4	会社概要……………	13
	セグメントの概況……………	5	株式の状況……………	14
	財務諸表……………	7	株主メモ	

会社の事業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られるとともに、半導体関連産業等需要の下支えに加え一般工作機械投資が堅調に推移したことで、設備投資動向に改善の動きがあるなど景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、地政学的リスクによる海外経済の不確実性により依然として先行不透明な経済環境で推移いたしました。

当社関連の減速機関連業界は、景気の緩やかな回復傾向が続くなか、設備投資動向が好調に推移したことで、工場生産設備等自動化向け減速機やシャッタ開閉機の受注が堅調に推移しました。駐車場装置関連業界においては、外国人観光客の増加や、東京オリンピック・パラリンピックを控えた都市再開発の増加等、回復傾向にある国内経済の下支えにより、不動産市場は活性化し受注は回復基調となりました。

このような環境のもと、当社におきましては、生産体制の強化・見直しを継続的に取り組むとともに、顧客志向に立った製品開発、差別化した提案営

業を推進し、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、保有技術を活かした製品開発に取り組むとともに、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、顧客満足度の向上と受注獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、マーケティングに基づく戦略的営業展開を図るとともに、コスト競争力の強化を推進し収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、受注獲得と安定した収益改善に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は6,621百万円（前期比6.9%増）、営業利益は345百万円（前期比34.7%増）、経常利益は376百万円（前期比34.8%増）、当期純利益は245百万円（前期比51.7%増）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済の見通しは、政府による各種政策の効果もあり、引き続き緩やかな景気の回復が期待されますが、米国現政権の政策動向や地政学的リスクによる国際情勢・経済情勢の変化、資材価格の高騰リスク等により経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような環境のもと、当社といたしましては、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、事業の拡大を目指してまいります。また、今後見込まれる事業環境の変化に備え、中核技術である動力伝導技術に中長期的な対策と資源を集中し、安定した収益を確保し続ける経営基盤の構築に努めてまいります。

減速機関連事業では、平成29年10月に「安心安全」をコンセプトとして新発売した、食品機械向けギヤードモータの更なる拡販を目指してまいります。また、引き続き蓄積されたノウハウをもとに、新規開発に注力するとともに、成長産業分野へ着目した新規顧客展開を行い、シェア拡大を目指してまいります。

駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫能力や省エネ性能、耐震性等を誇る当社の「くし歯技術」を活かした付加価値開発を行い、成長分野や需要増加が見込まれる分野へ積極的に展開してまいります。また、製造・施工コストの管理体制強化と低減活動を進め、受注獲得と収益改善に努めてまいります。

室内外装品関連事業では、品質管理体制の強化と生産性の向上により、利益確保に努めてまいります。

なお、次期の見通しにつきましては、売上高6,800百万円、営業利益360百万円、経常利益380百万円、当期純利益250百万円を見込んでおります。

当期の概要

売上高

6,621 百万円 
(前期比 6.9%増)

経常利益

376 百万円 
(前期比 34.8%増)

当期純利益

245 百万円 
(前期比 51.7%増)

売上高



経常利益



当期純利益



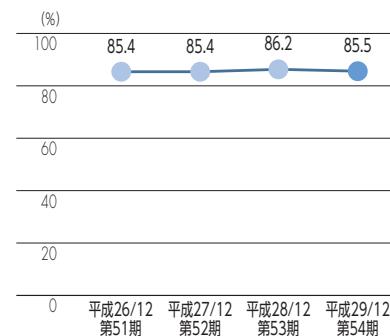
1株当たり当期純利益



純資産・総資産

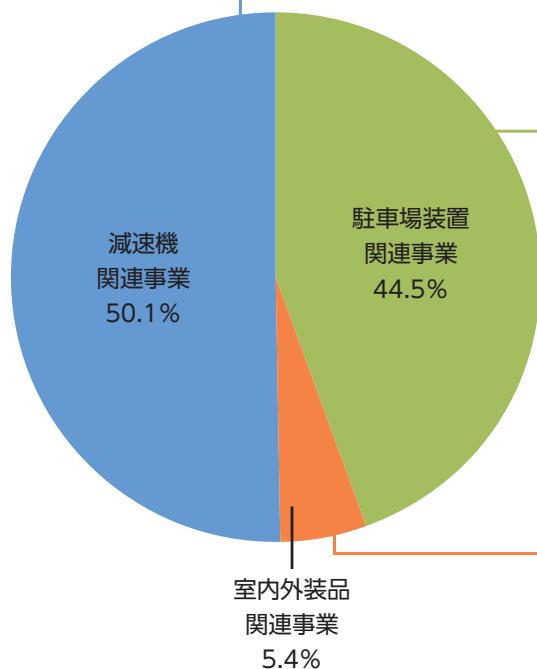


自己資本比率



セグメントの概況

事業別売上高構成比



減速機関連事業

売上高
3,318百万円
(前期比 8.2%増)

《主要製品》
汎用減速機 (ギヤードモータ)
特殊減速機
シャッタ用駆動装置
消防用非常装置 (ジェットセイバー)



駐車場装置関連事業

売上高
2,944百万円
(前期比 12.7%増)

《主要製品》
パズルタワー
スーパーパズルGS、LB
パズルタワー・ミニ10
ペアパーク、アベルート



室内外装品関連事業

売上高
358百万円
(前期比 30.0%減)

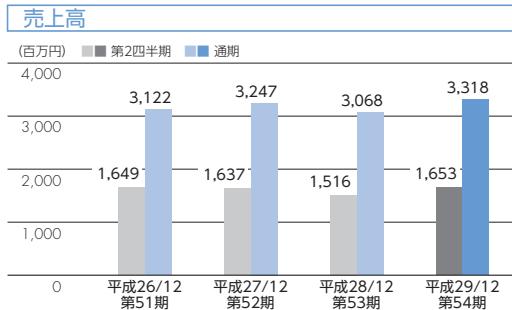
《主要製品》
可動間仕切 (スライディングドア)
パネルルーバー



特殊減速機関連分野の受注が堅調に推移しました

設備投資動向が堅調に推移するなか、当社が得意とする特殊減速機が工場生産設備自動化等で採用されるとともに、物流倉庫向けシャッター開閉機等の受注が堅調に推移し、売上高は3,318百万円（前期比8.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価

低減活動等の取り組みおよび特殊製品や汎用製品が伸長したことで130百万円（前期比40.4%増）となりました。



継続的な選別受注や原価低減活動に取り組みました

外国人観光客の増加を背景にホテルの新設が相次ぐなか、入出庫速度の速い当社機械式駐車場が多く採用されたことや、マンション、都市再開発案件においても受注が伸長したことにより、売上高は2,944百万円（前期比12.7%増）となりました。営業利益につきま

しては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みに加え、第4四半期における改造改修工事の受注獲得活動が奏功し235百万円（前期比60.5%増）となりました。



品質管理の徹底と性能の向上に努めました

品質管理の徹底と性能の向上に努めましたが、競争激化等により受注が減少し、売上高は358百万円（前期比30.0%減）となりました。営業損益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めましたが、受注の減少を補い

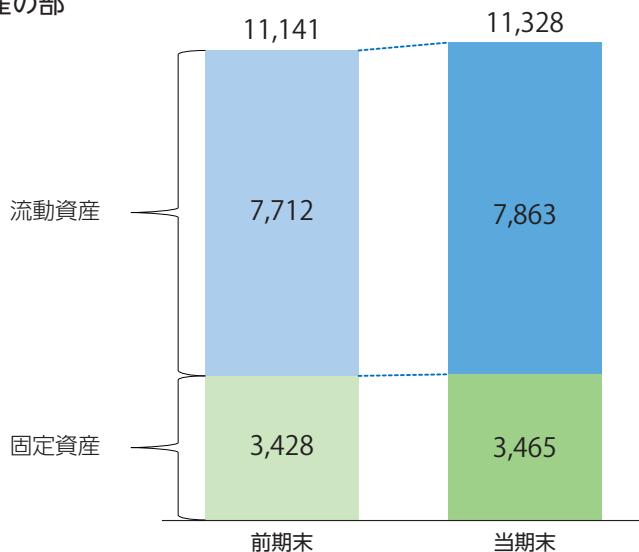
きれず19百万円の損失（前期は17百万円の利益）となりました。



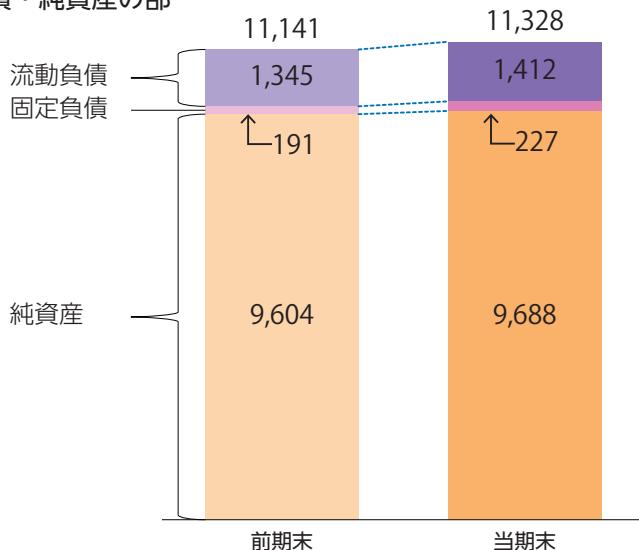
貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



1 資産

流動資産は、前期末に比べ150百万円増加し7,863百万円となりました。

これは、現金及び預金と受取手形が減少した一方で、完成工事未収入金と未収入金が増加したことなどが主な原因です。

固定資産は、前期末に比べ36百万円増加し3,465百万円となりました。

これは、保有株式の株価下落等により投資有価証券が減少した一方で、資産の取得等により有形固定資産が増加したことなどが主な原因です。

2 負債

流動負債は、前期末に比べ66百万円増加し1,412百万円となりました。

これは、未払金と未払消費税等が減少した一方で、工事未払金と支払手形が増加したことなどが主な原因です。

固定負債は、前期末に比べ36百万円増加し227百万円となりました。

これは、繰延税金負債が減少した一方で、退職給付引当金が増加したことなどが主な原因です。

3 純資産

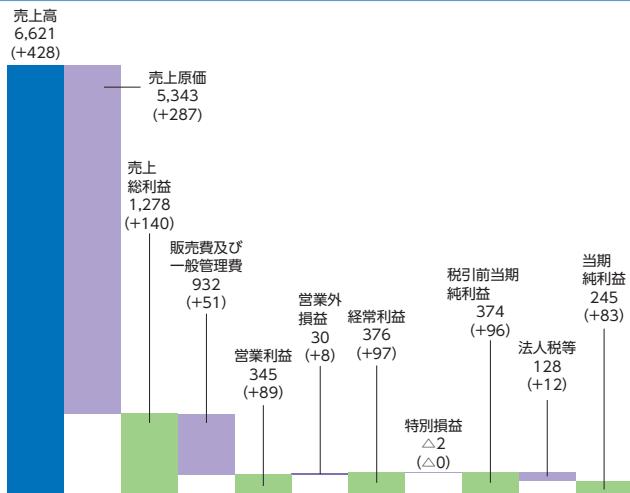
純資産は、前期末に比べ83百万円増加し9,688百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどが主な原因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ0.7ポイント減少し85.5%となり、1株当たり純資産は前期末に比べ4円96銭増加し572円75銭となりました。

損益計算書

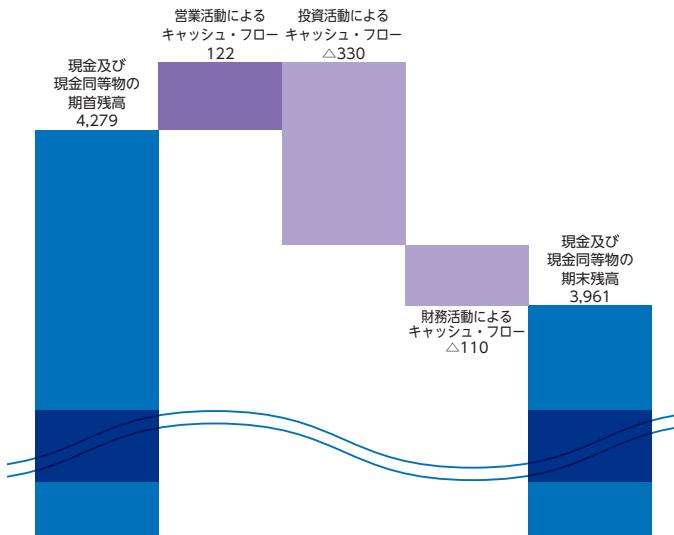
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前期比

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

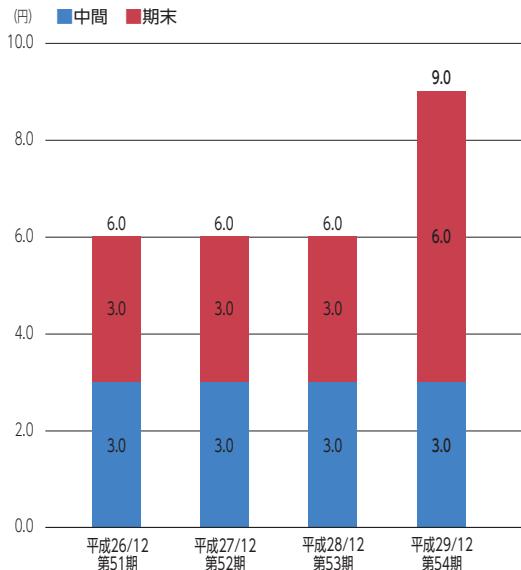


配当について

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要な政策と位置づけ、経営体質の強化と今後の事業展開を踏まえた内部留保等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。当社は、平成29年4月15日をもちまして創業70周年を迎えることができ、これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期の期末配当につきましては、創業70周年記念配当を加え、1株当たり6円を実施させていただきます。なお、中間配当金として1株当たり3円を実施しておりますので、年間配当金は、1株当たり合計9円となります。

1株当たりの配当金の推移



※ 第54期 期末配当には、創業70周年記念配当3.0円が含まれております。

富士変速機のギヤードモータは暮らしのどこかでつながっています。

確かな技術と信頼で選ばれている 富士変速機のギヤードモータが 暮らし・産業のさまざまな シーンで活躍しています

多様化するメカトロニクスにお応えし、多種多彩な変・減速機の応用製品を生み出しています。産業分野から暮らしの分野まで幅広く利用されています。

産業分野

汎用減速機 (ギヤードモータ)

VX Series 平行軸

VC Series 直交軸



共通特長

- インバータによる可変速運転が可能
- ブレーキ手動解放装置付
- 端子BOX90°位置変更可
- 小型・軽量 ●低騒音・長寿命
- メンテナンスフリー

暮らしの分野

暮らしの分野で活躍するギヤードモータ

かけがえのない生命と財産をまもる 万一の際に安心な消防用非常装置 『ジェットセイバー』

減速機のノウハウを応用したシャッター駆動装置。その中でもジェットセイバーは優れた技術力を結集して開発した電動シャッター水圧開放装置です。非常の際、消防車の強力な送水圧で外部よりタービンを回し、シャッターを開放。わずか1分で消防隊が消火活動に移れる状態にし、かけがえのない人命の救出や、大切な財産の消失防止に役立ちます。



独自技術をベースに
画期的なパーキングシステムを創造しています。

「くし歯」方式をはじめ、独自技術で 業界トップクラスの入出庫スピード 高い安全性と省エネを実現 駐車場の新世代をリードする “パズルタワー”

超高層パズルタワー
(ビル内に設置できる超高層タイプ)



パズルタワーの特長

ハイスピード

昇降路での車の受け渡しを瞬時に行うパレットレス方式を採用し、無駄のない動きで、パレット方式と比較して業界トップクラスの処理能力を誇ります。

耐震構造 低騒音・低振動

当社独自の設計で、すぐれた耐震性を有しています。リフトは低騒音・低振動設計で、きわめて静かな高速運転により深夜でも安心です。

省エネ

入出庫時は、必要な1台だけを動かすため、消費電力量は従来比1/2で済みます。

安全性

当社独自のトータル品質管理システムを導入し、人と車の安全面を考慮して、二重三重の安全を確保しています。

立地条件や用途に合わせて
充実したパーキングシステムラインナップを展開
オーナー様のあらゆるニーズに対応しています

スーパーパズルGS、LB (中規模、大規模地下式駐車場)



ウェルポートパズルタワーF (バリアフリー立体駐車場)



ペアパーク、アベルート (2段式駐車装置)



EV・PHVパズルタワー (EV・PHV充電システム)





標準品

食品機械向けギヤードモータ

新商品

高まる「食の安全」に対し、最適なギヤードモータをご提案いたします。

- F55C22000、ISO22000など規格取得に最適
- グリース漏れに対する2重の安全対策
- 丸洗いによる清掃の簡素化
- 短納期対応(5日日出荷)



- モータ出力
0.1kW~0.4kW
- 減速比
1/3~1/200



- モータ出力
0.1kW~0.4kW
- 減速比
1/7~1/240



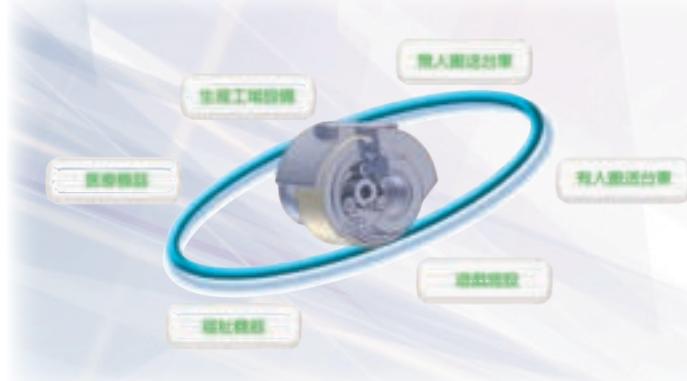
- モータ出力
25W~60W
- 減速比
1/7~1/240



特殊品

搬送台車駆動用減速機

お客様専用の駆動輪を設計・製作いたします。



- 豊富な実績で高効率・高強度
- ホイールに減速機内蔵でコンパクト設計・シンプルな外観
- 各社サーボモータ選択可能
- 低バックラッシュ・クリーンルーム・低騒音オプション対応

「第21回機械要素技術展」 に出展いたしました。

平成29年6月21日(水)～23日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された機械要素や加工技術の専門技術が一堂に集まる日本最大の専門展「第21回機械要素技術展」に出展いたしました。

当社ブースでは、新商品の食品機械向けギヤードモータをはじめ、標準シリーズやAGV(搬送台車)用ギヤードモータなどのラインナップを一堂に展示いたしました。これまで培ってきた技術力を訴求し、多くのお客様にご来場いただき、有意義な展示会となりました。



「名証IRエキスポ2017」 に出展いたしました。

平成29年7月21日(金)、22日(土)、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)で、開催された投資家向けのイベント「名証IRエキスポ2017」に出展いたしました。

当社ブースでは、製品紹介ビデオを用いながら丁寧な対話を行うとともに、製品説明を強化し、当社について深く知っていただく機会となりました。更なる当社認知度の向上を図るとともに、IR活動の充実を行ってまいります。



会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
創業	昭和22年4月
設立	昭和40年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-27) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-27) 第10684号 電気工事業 (般-29) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
従業員数	202名 (男性184名 女性18名)

主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

(平成30年3月23日現在)

代表取締役社長	河嶋謙一
取締役	井本明
取締役	市原英孝
取締役	山田昭広
取締役	大富裕哉
取締役	佐野通彦
取締役	堀尾剛毅

監査等委員である取締役

(平成30年3月23日現在)

取締役	今村季嗣
取締役	木村静之
取締役	中丸公之

(注) 取締役の木村静之、中丸公之の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを
ご覧ください

<http://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。ぜひ一度、ご覧ください。

株式の状況 (平成29年12月31日現在)

株式の状況

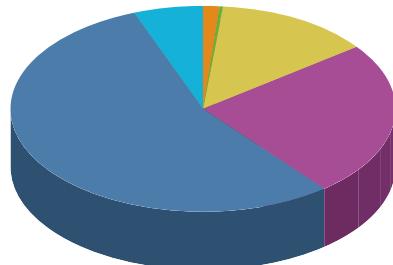
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,756名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,749	10.34
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
富士変速機従持会	346	2.04
MSIP CLIENT SECURITIES	249	1.47
三井住友信託銀行株式会社	171	1.01
岐阜商工信用組合	141	0.83
第一生命保険株式会社	141	0.83

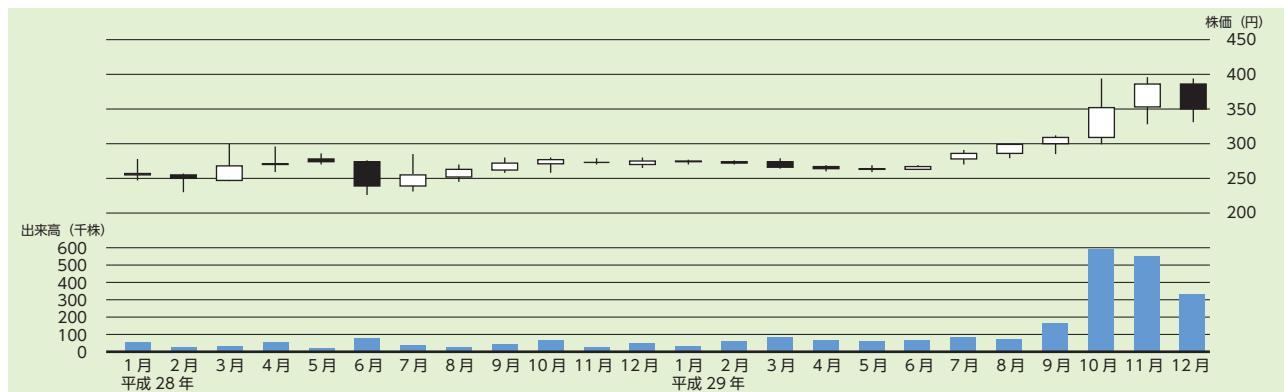
(注) 1. 当社は、自己株式1,039千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



外国人	証券会社
4名	14名
251,300株	53,963株
1.40%	0.30%
金融機関	個人・その他
14名	1,669名
2,386,600株	4,381,981株
13.30%	24.40%
その他国内法人	自己名義株式
54名	1名
9,841,716株	1,039,440株
54.81%	5.79%

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。